

米国短期研修プログラム

スタンフォード大学で学ぶ「デザイン思考」 & 「STEAM」ワークショップ(2020.03)

- 世界で躍進する企業が注目する発想法をデザイン思考の本場・スタンフォード大学で学習！
- 21世紀型教育といわれる探求型カリキュラムを実体験。主体的に学ぶ姿勢を身につけよう！
- デザイン思考を学ぶ現地の中高生と交流！
- シリコンバレーの最先端企業を訪問！
- スタンフォード大学ファカルティから直接学び、最先端の「STEAM」研究に触れよう！
- バイリンガルコーチの手厚いサポート。安心して英語漬けの5日間を送ろう！



プログラム概要

デザイン思考とは、**デザイナーの思考法をメソッドとして取り入れ、思いもよらない発想につなげるための一連のプロセスと、それを実践するために必要とされるマインドセット**を指し、シリコンバレーでは先端企業が積極的にデザイン思考を取り入れてビジネスチャンスにつなげています。21世紀人材に求められる「**クリティカルな思考力**」「**コミュニケーション力**」「**コラボレーション力**」「**創造性**」「**独創性**」を体系的に育む教育アプローチのひとつともいえ、今や世界のさまざまな地域で、中学校・高校が授業カリキュラムにデザイン思考を取り入れています。スタンフォード大学はデザイン思考の実践の場として知られており、**STEAM (Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics)** 領域で活躍する人材を育成する中核的な存在となっています。

本プログラムでは、デザイン思考の本場シリコンバレーでスタンフォード大学講師による集中講座を受講し、現地の代表企業を訪れます。ワークショップ中はバイリンガルの大学生や大学院生がチーム（4人）に1名ずつついて、テクニックや英語をサポートします。スタンフォード大学のファカルティやシリコンバレーの専門家による特別セミナーを通じて、参加者はテクノロジーと人間や社会の関係を掘り下げ、最先端のSTEAM研究を学びます。また、ディスカッションやブレインストーミングを行うことでクリティカルな思考力を養い、プロトタイプづくりなどの協働作業を通じてグループワークのスキルを学びます。最終日にはシリコンバレーの様々な領域で活躍する人材をゲストに迎え、チームごとに英語でプレゼンテーションを行ないます。さらにシリコンバレーを代表する先端企業への見学や現地学生との交流など、現地にユニークなネットワークをもつ本プログラムならではの企画を通じ、グローバルな視点としなやかな積極性を養います。

1. 研修場所

米国 スタンフォード大学

2. 研修日程

2020年3月22日(日)～3月28日(土)

3. 宿泊場所

スタンフォードゲストハウス 他(予定)

(スタンフォード大学関連施設)

2575 Sand Hill Road, Menlo Park, CA 94025

4. 募集人数・募集対象

募集人数：20名(男子10名、女子10名)

募集対象：中学3年生～高校2年生



5. 英語能力基準点

英語力不問

6. 参加条件

スタンフォード大学教育学部が実施する研究アンケートに参加していただきます。

7. 出願書類

一貫教育校派遣留学制度WEBサイト (<http://www.cies.keio.ac.jp>) よりダウンロードをしてください

- ① 志願書 (様式指定)
- ② 誓約書 (様式指定)
- ③ 志望理由書

8. 募集〆切

在籍校事務室により締切が異なります。

在籍校にご確認ください。



一貫教育校派遣留学制度WEBサイトQRコード

9. 参加決定

2020年1月上旬

※各校で選抜のうえ、教育先導事業運営委員会が参加者を決定します。

10. 集合・解散

羽田空港集合・羽田空港解散 全行程を2~3名の教員が引率予定

11. 出発前説明会 (※参加必須)

2020年2月8日(土) 15:45~

12. 現地研修概要

「研修スケジュール」(昨年度参考)をご覧ください。

13. 参加費用概算

参加費: 約48万円(予定)

(内訳)

研修費用: 約30万円(現地研修費用, 研修中宿泊費・一部食費, その他研修運営関わる費用)

海外旅行保険: 約5千円(義塾指定)

渡航費: 約17万円(義塾指定便往復航空運賃, 空港使用税, 燃油サーチャージ)

《注意》

実際には一人当たり約48万円以上かかりますが、慶應義塾が補助し、約48万円程度に収まる予定です。研修費用は参加人数によって変動するため、確定額は参加者に後日お知らせします。また、燃油サーチャージの変動(値上がり)の可能性がります。なお、研修費用に含まれない一部食費, 超過手荷物運搬料金, 渡航手続関係費用(パスポート申請費用, ESTA申請費用等), 電話代, 自由行動時の個人的費用等は自己負担となります。

14. 運営企画団体

教育先導事業運営委員会(慶應義塾一貫教育校派遣留学制度の運営母体)

協力・パートナー団体: 一般社団法人スカイラボ

共同代表: ヤング吉原麻里子(スタンフォード大学講師)・木島里江(トロント大学准教授)

SKY LABOは、Science・Technology・Engineering・Mathematics (STEM) に、アートやリベラルアーツ系の視点を加えた「STEM+αの女子教育」で、次世代のイノベーション人材を育成する非営利団体。2016年設立。技術開発をささえるものづくりの発想法や科学知識につながる探索のマインドセットを培う場を提供している。2018年3月実施の本プログラムの協力団体。2017年以来、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科と連携し、日吉キャンパスで女子中高生を対象にデザイン思考とSTEAMを学ぶバイリンガル・ワークショップを実施。

後援: スタンフォード大学教育学部

研修スケジュール（昨年度参考）

日付		
3月24日	(日)	19:45 東京/羽田空港国際線ターミナル発 JL002 便 13:10 サンフランシスコ国際空港 着 マイクロバスで移動、宿泊先チェックイン 17:00 ウェルカムディナー慶應一貫教育校卒業生との交流会
3月25日 デザイン思考 集中講座 3日間	(月)	AM デザイン思考 STEAM プログラム@スタンフォード大学 (BIG TREE LAB) 12:30 特別講演会、時枝 正教授 (スタンフォード大学数学学科) PM デザイン思考 STEAM プログラム@スタンフォード大学 (BIG TREE LAB) 16:00 現地中高生との交流 19:00 Ge Wang 教授講義 (場所 : CCRMA Department of Music, Stanford University)
3月26日	(火)	AM/PM デザイン思考 STEAM プログラム@スタンフォード大学 (BIG TREE LAB) 16:00 現地中高生との交流
3月27日	(水)	AM/PM デザイン思考 STEAM プログラム@スタンフォード大学 (BIG TREE LAB) 17:00-18:30 プロトタイプ発表会 (教育学部の講堂、CERAS 100 にて) 夕食 : Arrillaga Dining Hall、夕食後 Stanford Book Store 立寄り
3月28日	(木)	企業見学 ①VMWare 社 ②Plug and Play 社 ③Google 社 夕食 : スタンフォードショッピングセンター (自由行動)
3月29日	(金)	8 : 00-12 : 00 又エバ学校見学、昼食 13:00 空港着、出国手続き 16:00 サンフランシスコ国際空港発 JL001
3月30日	(土)	19:15 東京 羽田空港国際線ターミナル 着

以上

【事務局・問い合わせ先】

一貫教育支援センター 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
電話 : 03-5427-1711 (平日 8:30~17:00) Email: ikkan-center@adst.keio.ac.jp